

貌鳥

新野の
祐子

友の入院二句

いぬふぐり帰るべき家振り返り

頬髭を撫でる春風友癒えよ

剪定のアラベスクめく小枝なる

囀さえずりや水面に映る昼の星

山葵わさび田に流れ着きたるオフエーリア

角と尾を手でたしかめる春の夢

黄砂来る戦いや増すシリアより

春泥とおもえば猫の土足美はし

初蝶の失せもの生あるるようにな

貌鳥かおどりの低く飛ぶ時わが胸空く